

(様式第 11 号) (第 14 条関係)

年度 「みんなの力でつくるまち」活動支援事業評価報告書

事業名	新軽井沢区誌編纂
団体名 (連絡先)	新軽井沢区誌編纂委員会
総事業費	2,220,000 円 (うち補助金: 250,000 円)

事業内容

事業の目標は、区誌の編纂と得られた情報を次世代に伝えること。区誌は令和 3 年 3 月末までの刊行し、次世代への伝達はそれ以降の課題とした。

1. 編纂を実行するため令和元年 7 月に実行委員会を編成。月一回の定例会を令和 3 年 3 月まで 17 回開催。
2. 区誌の全体構成を始め、取材、編集、日程などを協議、実施。編集の最終工程と印刷製本を発行社に委託。
3. 区民には各戸配布を決定。資金の不足分を区内の商店・会社などに協賛金をお願いし、目標を達成した。
4. 令和 3 年 3 月刊行、区民各戸及び関係者に配布。
印刷総数は 650 冊。



【区誌の表紙】現物を別途納入

事業効果

1. 散逸が進む資料・写真を収集し、主に高齢者の記憶に頼るしかなかった区の歩みを区誌の形で残すことが出来た。
区民からは「よくやってくれた」という声が聞かれた。
2. 特に若い人、子供たちが地元の歴史に触れる機会が少なかったが、各戸配布によって知る機会となる。
3. 協賛に応じてくれた商店・会社は広告を掲載したが、後世にこの時代の生業のありようが残せる。
4. 店頭に置き、観光客などが目にする機会が増える。

【目標・ねらい】

- 区の歩みの記録・記憶を区誌として後世に遺す。
- 若い世代・子供たち・移住者が地域のことを知る機会とする。
- 次世代に語り継ぎ、それを背景に新時代の地域デザインのヒントとなることを期待する。

今後の取り組み

1. 取材の過程で得られた資料・写真・聞き取り情報を基に「新軽井沢の歩み」をパワーポイントに作成。
2. 区内外の様々な団体などに働きかけて、語り継ぎの機会を作る。
3. 集まった資料を区民会館へ展示を検討中。

自己評価 (目標達成率) 【 A 】

※自己評価欄は「A」90%以上「B」70~89%「C」50~69%「D」49%以下で示すこと。